

成東地区地域審議会 会議録

会議の名称	第1回成東地区地域審議会	
開催日時	平成18年7月21日(金)	午後1時30分 開会 午後4時40分 閉会
開催場所	山武市役所 大会議室	
議長氏名	實川 征吾	
出席者氏名	別添出欠者名簿のとおり	
欠席者氏名	なし	
事務局氏名	小川 利一 齋藤 光一 石田 徳男 小崎 健次 小川 雅弘 越川 正	
会議事項	<p>7 議題</p> <p>(1) 会長・副会長の選出について</p> <p>(2) 地域審議会運営要綱について</p> <p>(3) 今後の運営について</p> <p>(4) その他</p>	<p>2 会議結果</p> <p>(1) 会長 實川 征吾 副会長 山田 成雄</p> <p>(2) 原案により決定</p> <p>(3) 山武市総合計画審議会 委員 金日 弘之 審議会有効運営のため 勉強会を実施する 次回以降、質問事項提案書 を各委員に送付する。</p>
会議の経過	別添会議経過のとおり	
会議資料	「次第」「地域審議会について」「地域審議会の設置に関する協議」「山武市成東地区地域審議会運営要綱(案)」	
その他必要事項	1時30分から3時までは、成東地区、山武地区、蓮沼地区及び松尾地区地域審議会合同で開催した。	
会議録の確定		
確定年月日	署名	
平成18年8月18日	石橋 藤 栄	
	宇津木 まさ子	

( 会議経過 )

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	<p>1 . 開会 ( 進行 企画政策課 小崎課長補佐 )</p> <p>2 . 委嘱状の交付 市長から松尾地区、蓮沼地区、山武地区、成東地区の順で、出席委員に交付された。</p> <p>3 . 市長あいさつ ( 椎名市長 ) 本日は、第 1 回成東地区・山武地区・蓮沼地区・松尾地区地域審議会の開催にあたり、委員の皆様方には、大変御多用の中を御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。 また、この度、各地区の地域審議会委員としてお願いを申し上げますところ、快くお引き受けいただきましたこと、重ねてお礼を申し上げます。 ご承知のように、今年 3 月 27 日に、旧成東町、山武町、蓮沼村、松尾町の 4 町村が合併し山武市が誕生いたしました。新市が誕生して 4 か月が経過し、この 6 月には、第 1 回山武市定例議会が開催され本格的な自治行政が稼動を始めました。 さて、合併により 6 万人有余の人口を有した新市が目指すところは何か、それは、そこに集い暮らす人々の本当の幸福は何かの探求にはじまり、誰もが幸せを実感できる山武市の実現にあるものと私は考えます。 施政方針で述べさせていただきましたが、その実現のための施策として、『行政改革の推進』『市民との協働によるまちづくり』『透明性を保障する情報の公開』『教育の充実』『拡大する需要に応え得る有効な福祉施策』『地域医療の確保』『産業の振興』をお約束しました。 そして、これらの施策の具体的な展開には、《目標を設定し》《期限を定め》《それにあてる財源を明確にし》《その実現への方法も含めプランを作成し》できるだけ早期に示す必要があると考えております。 今、地方を取り巻く環境は、加速する少子高齢化、逼迫した財政状況、多様化する行政ニーズ等から厳しい状況にあり、様々な角度から見直しを行わなければ、地方行政そのものが成り立たない事態に陥ってしまいます。</p>

だからこそ、旧態依然たる本音と建前の使い分けというような手法は捨てて、できる事、できない事を明確にし、市民の皆さんと行政が共通の理解を深め、共に自主独立のまちづくりを目指すことが大切であると考えます。

各地区審議会委員の皆様におかれましては、この合併が将来にわたり、よりよい地域づくりとなり、それぞれの地域が持っております歴史・文化・産業・観光等々の資源を最大限に活用しながら、均衡ある発展と一日でも早い山武市の一体性確立につながりますようお願い添えをいただきたいとお願い申し上げます。

このことをお願いいたしまして、誠に簡単ではございますが、開会のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 4．説明

(1) 地域審議会について(企画政策課 石田課長)  
資料に基づき説明

(2) 新市建設計画等について(企画係 小川係長)  
資料に基づき説明

#### 5．職員の紹介

総務部職員、山武支所職員、蓮沼支所職員、松尾支所職員の自己紹介を行った。

職員紹介終了後に、千葉県総務部市町村課市町村合併支援室、川崎主査から市町村合併について千葉県市町村合併推進審議会での会議状況、今後における合併の必要性、合併の組み合わせの基本的な考え方等について説明がされた。また、各委員に対して市町村合併に対する意見募集がなされた。

・・・・・・休憩(会場移動)・・・・・・午後3時00分  
各会場に分かれて会議が行われた。

<p>田邊委員</p> <p>實川会長</p>	<p>会長及び副会長が選出されるまでの間の進行を、小川総務部長が務めた。</p> <p>6．委員紹介 公共的団体等を代表する石橋委員から名簿順に自己紹介が行われた。</p> <p>7．議事 (1) 会長・副会長の選出について</p> <p>会長に實川委員を推薦する。</p> <p>副会長に山田委員を推薦する。</p>
<p>實川会長</p>	<p><b>決定事項</b> 会長には實川委員、副会長には山田委員が選出された。 〔3時20分決定〕</p> <p>～あいさつ概要～ 市長あいさつの中で述べられていたが、たいへん厳しい財政状況であり、これから様々な角度から見直しが図られる。地域審議会としては、旧成東町として必要なもの必要でないものの意見を決めていく。そのために地域審議会が有意義であるよう協力をお願いしたい。</p> <p>(2) 地域審議会運営要綱について 山武市成東地区地域審議会運営要綱案について</p>
<p>土屋委員</p>	<p>開かれた審議を行っていくのに、何故20人と定める必要があるのか。</p> <p>定数を定めるということは、地域審議会の趣旨に反すのではないか。</p> <p>人数を限定することは役所的発想であり、案件により入場を希望する人がいれば入れるだけ入れる方が民主的である。民主的に考えて欲しい。</p> <p>人数の限定は、役所の歯止めとしての大義名分であり、役所の</p>

<p>金田委員</p>	<p>自己逃れの本能としか考えれない。</p> <p>議会の傍聴はどうなっているのか。 (事務局回答 40 人)</p> <p>要綱第 4 条中、傍聴人の定数原則 20 人について上記意見が発せられたが、挙手による決がなされ、原案挙手多数となった。 しかしながら、その後、地域審議会に関する様々な意見が寄せられ協議し、最終的には、再度諮られ異議なしの声があがり決定された。 ( 定数以上の傍聴であってもできる限り受け入れる。)</p> <p><b>決定事項</b> 原案《山武市成東地区地域審議会運営要綱》承認 16 時 17 分 要綱第 2 条の会議録の署名は、今回は、石橋委員と宇津木委員が会長から指名された。</p> <p>( 3 ) 今後の運営について 今後の地域審議会開催の予定について</p>
<p>木下委員</p>	<p>各地域審議会の意見は市政に反映されるのか。 合併したのに、なぜ、個々に地域審議会が設置されるのか。 (事務局回答：地域審議会の意見については、最大限市政に反映する考えである。また、地域審議会は、合併特例法により旧町村の区域ごとに設置することになっており、合併協議会で各地区に設置することが確認されたため。)</p>
<p>土屋委員</p>	<p>地域審議会は、何をするのか。 地域審議会に権限はあるのか。地域審議会の位置づけはどうなっているのか。 (事務局回答：地域審議会は市長の諮問に応じていただく附属機関であり、議決機関である議会とは異なる。) 運営要綱を決めるにしても、前提として諮問機関としての機能がわからなければならない。 諮問とは何か。いつ諮問するのか。</p>

	<p>(事務局回答：今後の地域審議会において、地域審議会の設置に関する協議第3条の所掌事務について市長から諮問があった時を想定している。)</p> <p>総合計画というのは、新市建設計画のことなのか。</p> <p>(事務局回答：いわゆる総合計画は、地方自治法に基づく総合的かつ計画的な行政運営を図るための計画であり、新市建設計画は、合併特例法に基づき合併市町村の一体性の確保、住民の福祉向上、均衡ある発展を目指すものである。なお、山武市新市建設計画は、具体的内容については、新市における総合計画に委ねることとしている。)</p> <p>合併したから総合計画を策定するのか。</p> <p>(事務局回答：新市山武市として新たに策定する必要がある。)</p> <p>建設計画と総合計画の範囲はどうなっているのか。</p> <p>(事務局回答：山武市建設計画を尊重しながら総合計画を策定していくことになる。)</p> <p>審議会の議題には、新市全体にかかわる事項と地域にかかわる事項とがある。今、一番大切なのは、新市がどういう方向に進むかである。新市建設計画では、具体的なビジョンは示されていない。市長が具体的ビジョンを示すか、あるいは審議会に指針的なものを与えていただきたい。したがって、最初は、市側から議論テーマを提示して欲しい。問題の大小、優先順等はあるが取捨選択のうえ進めてもらいたい。</p>
<p>金田委員</p> <p>木下委員</p>	<p>全体(旧4町村)の地域審議会は開催しないのか。</p> <p>(事務局回答：必要があれば連合での開催も考えていく。)</p> <p><b>決定事項</b></p> <p>今後の協議会開催は、事務局が構築スケジュール(勉強会を含めた)を作成した上で委員にお知らせする。</p> <p>審議会の有効運営のため、勉強会を実施する。</p> <p>委員から多岐にわたる質問が寄せられ、議事進行の観点から勉強会の提案が實川会長からなされた。勉強会は夜2時間程度で行い、無報酬で行い、事務局による資料が整いしだい開催す</p>

	<p>る案であった。挙手による各委員の意向を確認したところ、挙手多数で確認された。</p> <p>山武市総合計画審議会委員について</p> <p>金田委員 4 町村が合併し、山武市となり今後の事業が虫くいになってはならず、山武市としてトータルとして事業を展開していかなければならない。成東地区のみならず全体としてやっていきたい。(山武市総合計画審議会委員に立候補の申し出がされた。)</p> <p>田邊委員 総合計画審議会の委員の構成はどうなっているのか。</p> <p>渡辺委員 金田委員を推薦する。山武市全体からの総合計画審議会委員の考えもあるが、成東地区の地域審議会から出た委員でもあることから、成東地区のことも重視していただきたい。</p> <p><b>決定事項</b> 山武市総合計画審議会委員は金田委員に決定した。 4 時 2 8 分</p> <p>質問事項等提案書について</p> <p><b>決定事項</b> 委員は、審議会開催の 2 週間ほど前に質問事項等提案書を提出する。 委員〔異議なしの声〕 4 時 3 2 分</p> <p>その他について</p> <p>事務局から総合計画審議会委員について、成東地区地域審議会の代表 1 名のほか、総合計画審議会委員の構成員に学識経験を有する者が含まれるため、場合によっては、成東地区の地域審議会学識経験を有する委員から選出されることがある旨説明がされた。</p>
--	--

8 閉会

4時40分



会議の名称 第1回成東地区地域審議会

開催日 平成18年7月21日(金)

出欠席者名簿

委員氏名		出欠
会長	實川 征吾	出欠
副会長	山田 成雄	出欠
委員	石橋 藤榮	出欠
委員	宇津木 まさ子	出欠
委員	大角 進	出欠
委員	加藤 紀一	出欠
委員	掘角 文子	出欠
委員	諏訪 富美江	出欠
委員	田邊 孝雄	出欠
委員	渡辺 恵子	出欠
委員	今榮 博子	出欠
委員	金杉 きよ子	出欠
委員	金田 弘之	出欠
委員	木下 敬三	出欠
委員	土屋 力	出欠

出席 15名 ・ 欠席 0名